

## 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信[日本基準](連結)

2025年11月7日

上場会社名 フランスベッドホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 7840 URL https://francebed-hd.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)池田 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理/総務グループ担当 (氏名)長田 明彦 TEL 03-6741-5501

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月5日

決算補足説明資料作成の有無:有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上剤	高	営業利	J益	経常和	刂益	親会社株主に 中間純	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	29, 259	0.0	1, 782	△16.0	1, 765	△17. 7	1, 047	△20.9
2025年3月期中間期	29, 250	3. 1	2, 124	4. 3	2, 145	3. 6	1, 325	6. 1

(注)包括利益 2026年3月期中間期 839百万円(△18.5%) 2025年3月期中間期 1,031百万円(△2.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	31. 20	29. 45
2025年3月期中間期	38. 36	36. 35

### (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	67, 084	39, 158	58. 3	1, 173. 36
2025年3月期	70, 888	40, 607	57. 2	1, 175. 06

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 39,158百万円 2025年3月期 40,607百万円

## 2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円銭	円銭	円 銭			
2025年3月期	_	17. 00	_	23. 00	40. 00			
2026年3月期	_	17. 00						
2026年3月期(予想)				24. 00	41.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	可益	経常和	引益	親会社株3		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	62, 300	2. 8	4, 750	1.1	4, 750	1. 3	3, 050	3. 5	88. 25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

## ※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更:無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 :無

④ 修正再表示 : 無

#### (4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	34, 747, 500株	2025年3月期	34, 747, 500株
2026年3月期中間期	1, 374, 846株	2025年3月期	189, 920株
2026年3月期中間期	33, 571, 153株	2025年3月期中間期	34, 547, 596株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2025年11月27日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催前日までに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

# ○添付資料の目次

1.	経常	営成績等の概況	2
	(1)	当中間期の経営成績の概況	2
	(2)	当中間期の財政状態の概況	3
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	中間	間連結財務諸表及び主な注記	4
	(1)	中間連結貸借対照表	4
	(2)	中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
		中間連結損益計算書	6
		中間連結包括利益計算書	7
	(3)	中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4)	中間連結財務諸表に関する注記事項	ç
		(セグメント情報等の注記)	ç
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
		(継続企業の前根に関する注記)	10

#### 1. 経営成績等の概況

#### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(以下「当期」という。)におけるわが国経済は、企業収益や所得環境が改善したことなどを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移した一方で、物価上昇の継続による個人消費の停滞や、米国の通商政策の影響などにより、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、2024年4月から3カ年にわたる中期経営計画を策定し、引き続き経営 資源をシルバービジネスに重点投入することで事業を深化させるとともに、持続可能な社会の実現に向けたサステ ナブルな経営を通じて、企業価値の創出に取り組んでおります。

当期におきましては、主力の福祉用具貸与事業が、拡大を続ける市場環境を背景に堅調に推移し、着実な伸長を見せた一方、インテリア健康事業における家具店等への卸販売につきましては、新設住宅着工戸数の減少や耐久消費財への消費マインドの低下により、低調な推移となりました。

以上の結果、当社グループの経営成績は、売上高は29,259百万円(前年同期比横ばい)、営業利益は1,782百万円(前年同期比16.0%減)、経常利益は1,765百万円(前年同期比17.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,047百万円(前年同期比20.9%減)となりました。

なお、前第1四半期連結会計期間より、連結子会社である㈱ホームケアサービス山口の決算日を10月31日から3月31日に変更し連結決算日と同一としております。この決算期変更に伴い、前中間連結会計期間における当該連結子会社の会計期間は2024年2月1日から2024年9月30日までの8ヶ月となっており、決算期変更に伴う影響額は中間連結損益計算書を通じて調整しております。

当該連結子会社の2024年2月1日から2024年3月31日までの売上高は415百万円、営業利益は71百万円、経常利益は73百万円、税金等調整前四半期純利益は72百万円であり、この影響を除いた当社グループの前年同期比は、売上高は424百万円増収(前年同期比1.4%増)、営業利益は270百万円減益(前年同期比13.1%減)、経常利益は306百万円減益(前年同期比14.8%減)となります。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① メディカルサービス事業

主力の福祉用具貸与事業においては、団塊の世代が75歳以上となり後期高齢者人口が増加する中、介護保険下における中重度者となりうる高齢者の方々の在宅介護需要に応えるべく、軽度者(要支援・要介護1)へのベッド貸出を増加させるとともに、継続的なレンタル契約拡大に向けた営業員の採用や配送車両の増強を進めてまいりました。また、人件費など増加する費用に対し、倉庫・メンテナンス機能を有するサービスセンターの効率化や契約書類の電子化など、労働生産性向上への取り組みに着手しております。さらに、注力している顧客譲受の取り組みでは、本年6月に大規模な契約承継を遂行し、レンタル売上の拡大に寄与しました。

福祉用具貸与事業者向けの卸取引では、卸専用ベッド「RaKuDa」の拡販を目的に、レンタル卸企業向けオリジナルモデルの展開を開始いたしました。

病院・高齢者施設向け取引においては、医療現場での生産性向上、介護施設での介護テクノロジー導入による業務省力化に係る商品として、IoTセンサー搭載ベッド及びIoT機器の販売に注力いたしました。

リネンサプライ事業においては、コロナ禍以降の衛生意識の高まりを背景に需要が拡大しており、これに対応するため、本年4月に静岡県に新たなリネン工場を開設するなど、需要の取り込みに向けた設備投資を実施いたしました。

以上の結果、メディカルサービス事業の売上高は19,824百万円(前年同期比1.7%増)、経常利益は1,443百万円(前年同期比12.7%減)となりました。

なお、前述の連結子会社の決算期変更に伴う影響を除いた前年同期比は、売上高は747百万円増収(前年同期 比3.9%増)、経常利益は137百万円減益(前年同期比8.6%減)となります。

### ② インテリア健康事業

インテリア健康事業においては、国内の家具店の減少が続く中、全国の自社ショールームを中心に、「毎日キレイが続く」というコンセプトのもと、上部の詰め物が水洗い可能な新商品「ボディコンディショニング マットレス」や、基幹商品「ライフトリートメント」シリーズの上位モデル「LTレガシー マットレス」などの付加価値の高い商品の販売に注力するとともに、催事開催数の増加など需要喚起を行ったものの、継続的な物価上昇による耐久消費財への消費マインドの低下や夏場の記録的な猛暑による来店客数の減少により厳しい状況が続きました。このような状況に対応すべく、本年9月26日にリリースいたしました、生産拠点の集約・再編などのインテリア健康事業の構造改革に着手いたしました。

ホテル向け販売等においては、訪日外国人の増加や大阪関西万博の影響もあり、宿泊需要が堅調に推移し、ホテルへの設備投資が活発化する中、エコマーク認定のホテル向けマットレス「ホテル・エコ・コレクション」の採用ホテルが拡大したことにより売上が伸長しました。

以上の結果、インテリア健康事業の売上高は9,176百万円(前年同期比3.4%減)、経常利益は337百万円(前年同期比30.9%減)となりました。

#### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(以下「前期末」という。)と比較して3,803百万円減少し67,084百万円となりました。流動資産は前期末と比較して3,520百万円減少し34,962百万円となりました。主な要因は、現金及び預金986百万円、売上債権1,101百万円、有価証券1,500百万円などの減少によるものであります。固定資産は前期末と比較して276百万円減少し32,086百万円となりました。主な要因は、有形及び無形固定資産の取得及び償却によるものであります。

#### (負債)

負債は、前期末と比較して2,354百万円減少し27,926百万円となりました。主な要因は、仕入債務1,022百万円、 未払法人税等1,038百万円などの減少によるものであります。

#### (純資産

純資産は、前期末と比較して1,449百万円減少し39,158百万円となりました。主な要因として、増加については、親会社株主に帰属する中間純利益1,047百万円などによるものであり、減少については、剰余金の配当794百万円、自己株式の取得1,500百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前期末の57.2%から58.3%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、現金及び現金同等物残高が前期末と比較して986百万円減少し12,236百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,541百万円の収入(前年同期は3,893百万円の収入)となりました。主な要因として、収入については、税金等調整前中間純利益1,764百万円、非資金項目である減価償却費2,522百万円の計上、売上債権の減少1,101百万円などによるものであり、支出については、法人税等の支払額1,524百万円、仕入債務の減少1,022百万円などによるものであります。

### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,366百万円の支出(前年同期は3,438百万円の支出)となりました。主な要因は、有価証券の償還4,000百万円の収入などに対し、有価証券の取得2,500百万円、有形固定資産の取得2,753百万円による支出などによるものであります。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,161百万円の支出(前年同期は1,226百万円の支出)となりました。主な要因として、収入については、セール・アンド・リースバック1,726百万円であり、支出については、自己株式の取得1,502百万円、ファイナンス・リース債務の返済1,446百万円、配当金の支払い793百万円などによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日付「2025年3月期決算短信」にて公表した業績予想につきましては変更ありません。

(単位:百万円)

### 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

受取手形、売掛金及び契約資産

## (1) 中間連結貸借対照表

現金及び預金

電子記録債権

資産の部 流動資産

前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
7, 223	6, 236
9, 640	8, 755
1, 161	945
10, 000	8, 500
6, 517	6, 277
454	487
2, 315	2, 429
1, 173	1, 333
<u> </u>	<u>\( \Delta 2 \) \( 2 \</u>
38, 483	34, 962
C 014	0.017
6, 914	6, 917
13, 707	13, 851
20, 621	20, 769
459	222
457	339
844	707
1, 301	1,047
7, 203	7, 100
3, 236	3, 168
10, 440	10, 269
32, 363	32, 086
41	34

		(十四・日2911)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3, 000	3,000
資本剰余金	_	0
利益剰余金	35, 418	35, 671
自己株式	△205	$\triangle 1,699$
株主資本合計	38, 213	36, 972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	$\triangle 33$	$\triangle 16$
繰延ヘッジ損益	$\triangle 10$	$\triangle 2$
退職給付に係る調整累計額	2, 437	2, 205
その他の包括利益累計額合計	2, 393	2, 186
純資産合計	40, 607	39, 158
負債純資産合計	70, 888	67, 084

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	29, 250	29, 259
売上原価	13, 022	12, 806
売上総利益	16, 228	16, 452
販売費及び一般管理費	14, 103	14, 670
営業利益	2, 124	1,782
営業外収益		
受取利息	10	33
受取配当金	6	6
持分法による投資利益	8	-
その他	61	58
営業外収益合計	87	99
営業外費用		
支払利息	38	36
支払補償費	3	51
その他	23	28
営業外費用合計	65	115
経常利益	2, 145	1, 765
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	1	_
固定資産除却損	4	2
投資有価証券売却損	0	<u> </u>
特別損失合計	6	2
税金等調整前中間純利益	2, 139	1,764
法人税、住民税及び事業税	677	525
法人税等調整額	136	191
法人税等合計	814	716
中間純利益	1, 325	1,047
親会社株主に帰属する中間純利益	1, 325	1,047

## (中間連結包括利益計算書)

(中间建稿:包括剂金计异青)		
		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1, 325	1,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	16
繰延ヘッジ損益	$\triangle 49$	7
退職給付に係る調整額	△231	△231
その他の包括利益合計	△294	△207
中間包括利益	1,031	839
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,031	839
非支配株主に係る中間包括利益	_	_

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2, 139	1, 764
減価償却費	2, 574	2, 522
のれん償却額	117	117
固定資産売却損益(△は益)	0	$\triangle 0$
固定資産除却損	4	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18	$\triangle 0$
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31	△36
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10	$\triangle 7$
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△39	10
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△238	△231
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△48	$\triangle 1$
投資有価証券売却損益(△は益)	0	_
受取利息及び受取配当金	△17	$\triangle 40$
支払利息	38	36
持分法による投資損益(△は益)	△8	<del>-</del>
売上債権の増減額(△は増加)	1, 600	1, 101
棚卸資産の増減額(△は増加)	△374	92
仕入債務の増減額(△は減少)	△976	$\triangle 1,022$
未払費用の増減額(△は減少)	△343	△114
その他	△97	△129
小計	4, 271	4, 062
利息及び配当金の受取額	15	42
利息の支払額	$\triangle 44$	△38
法人税等の支払額	△348	$\triangle 1,524$
営業活動によるキャッシュ・フロー	3, 893	2, 541
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	$\triangle 2,346$	$\triangle 2,753$
有形固定資産の売却による収入	1	0
有価証券の取得による支出	$\triangle 4,500$	△2, 500
有価証券の償還による収入	3, 500	4, 000
投資有価証券の取得による支出	_	△48
投資有価証券の売却による収入	0	_
関係会社株式の取得による支出	△54	_
資産除去債務の履行による支出	<del>-</del>	$\triangle 14$
貸付金の回収による収入	3	5
無形固定資産の取得による支出	<u></u>	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3, 438	△1,366
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	$\triangle 145$	△145
自己株式の取得による支出	$\triangle 0$	$\triangle 1,502$
セール・アンド・リースバックによる収入	1, 224	1,726
リース債務の返済による支出	△1, 547	$\triangle 1,446$
配当金の支払額	△758	△793
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1, 226	△2, 161
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△771	△986
現金及び現金同等物の期首残高	13, 202	13, 223
現金及び現金同等物の中間期末残高	12, 430	12, 236

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 前中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他		⇒田 車を 安石	中間連結
	メディカル サービス	インテリア 健康	計	(注) 1	合計	調整額 (注) 2	損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上 高	19, 491	9, 505	28, 997	252	29, 250	_	29, 250
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	2	199	202	5	208	△208	_
11 h	19, 494	9, 705	29, 199	258	29, 458	△208	29, 250
セグメント利益又は 損失(△)	1, 653	489	2, 142	1	2, 144	0	2, 145

当中間連結会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他		調整額	中間連結 損益計算書
	メディカル サービス	インテリア 健康	計	(注) 1	合計	(注) 2	新上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上 高	19, 824	9, 176	29, 000	258	29, 259	_	29, 259
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1	223	224	6	231	△231	_
<b>=</b>	19, 826	9, 399	29, 225	265	29, 490	△231	29, 259
セグメント利益又は 損失(△)	1, 443	337	1, 781	1	1, 782	△16	1, 765

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。
  - 2. 調整額の内容は以下のとおりであります。 セグメント利益又は損失 ( $\triangle$ )

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
セグメント間取引消去	842	867
全社収益及び費用※	△841	△884
合計	0	△16

- ※ 全社収益及び費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社に係る収益及び費用であります。
- 3. セグメント利益又は損失 ( $\triangle$ ) は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,184,800株を取得いたしました。 また、2025年6月27日開催の取締役会決議に基づき、2025年7月22日付で自己株式4,800株の処分を実施いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間において、自己株式が1,494百万円増加し、当中間連結会計期間末において、 自己株式が1,699百万円となっております。

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。